



栄養サポートチーム（NST）と薬剤師

「チーム医療」という言葉をご存じでしょうか。

治療の際、医師だけでなく他の医療従事者がチームのようにして関わり、それぞれの専門性を活かして治療に取り組むことで、より専門的で多様な医療に対応することができます。チームの構成は状況によって変わり、また、チームの中に患者さん自身やご家族が含まれることもあります。

その中で、今回は全国で多くの施設で取り入れられている、栄養サポートチームについてご紹介します。

栄養サポートチームのことを、病院の中ではNSTと呼んでいます。Nutrition（栄養）Support（サポート）Team（チーム）の頭文字をとったものです。

NSTの目的は、その名の通り患者さんの栄養状態の改善です。どんな患者さんであっても、もちろん健常人でも生命維持のために栄養は必要不可欠です。

また、栄養状態が良くないと傷の治りが遅くなったり、感染症にかかりやすくなることもあります。NSTでは、医師・栄養士・看護師・薬剤師・臨床検査技師・言語聴覚士などが協力しあって患者さんの栄養状態が、さらにはその先にある疾患が改善する手助けをしています。

NSTは病棟を回って患者さんの栄養状態を確認し改善案を提案したり、院内で勉強会を開催し栄養についての知識を広めたりしています。

NSTの中での薬剤師の役割についてご紹介します。

<NSTにおける薬剤師の役割>

1. 高カロリー輸液の無菌調製
2. 使用薬剤の配合変化・相互作用の確認。特に消化吸収に対する影響や、副作用による食欲不振・下痢・便秘など
3. 患者さん・ご家族への説明・指導。特に高カロリー輸液や栄養剤の管理方法や使用薬剤全般についての服薬指導など

高カロリー輸液とは、点滴による栄養療法のうち、特に高カロリーのものを指します。アミノ酸・糖質・脂肪・ビタミン・ミネラルの投与が可能で、カロリーも1,000kcal～2,500kcalと1日の必要栄養量に十分な栄養を点滴から補給することができます。濃度が濃いため、通常は鎖骨下静脈（首の根元にある太い静脈）からカテーテル（点滴を入れるためのチューブ）を挿入して、栄養を入れます。

NSTの中で薬剤師は、輸液・薬剤についての相談・情報提供はもちろん、栄養状態と疾患との関連を理解して栄養状態の改善に努めています。

東海大学医学部附属大磯病院 薬剤科 楠木 祥子

